

附属書 SL をサポートする，用語の手引

更新履歴	承認日: 2025-07-08 (TMB Resolution 68/2025) 変更点サマリー - Appendix 3 全体にわたり列挙された文書の発行年を削除した。 - 最新の用語及び完全な参照にアクセスするためにユーザーを Online Browsing Platform (OPB) へ誘導するよう、目的に注記を追加した。 - この Appendix 承認時点の定義に整合させるため、ナレッジマネジメントの定義を更新した。
------	---

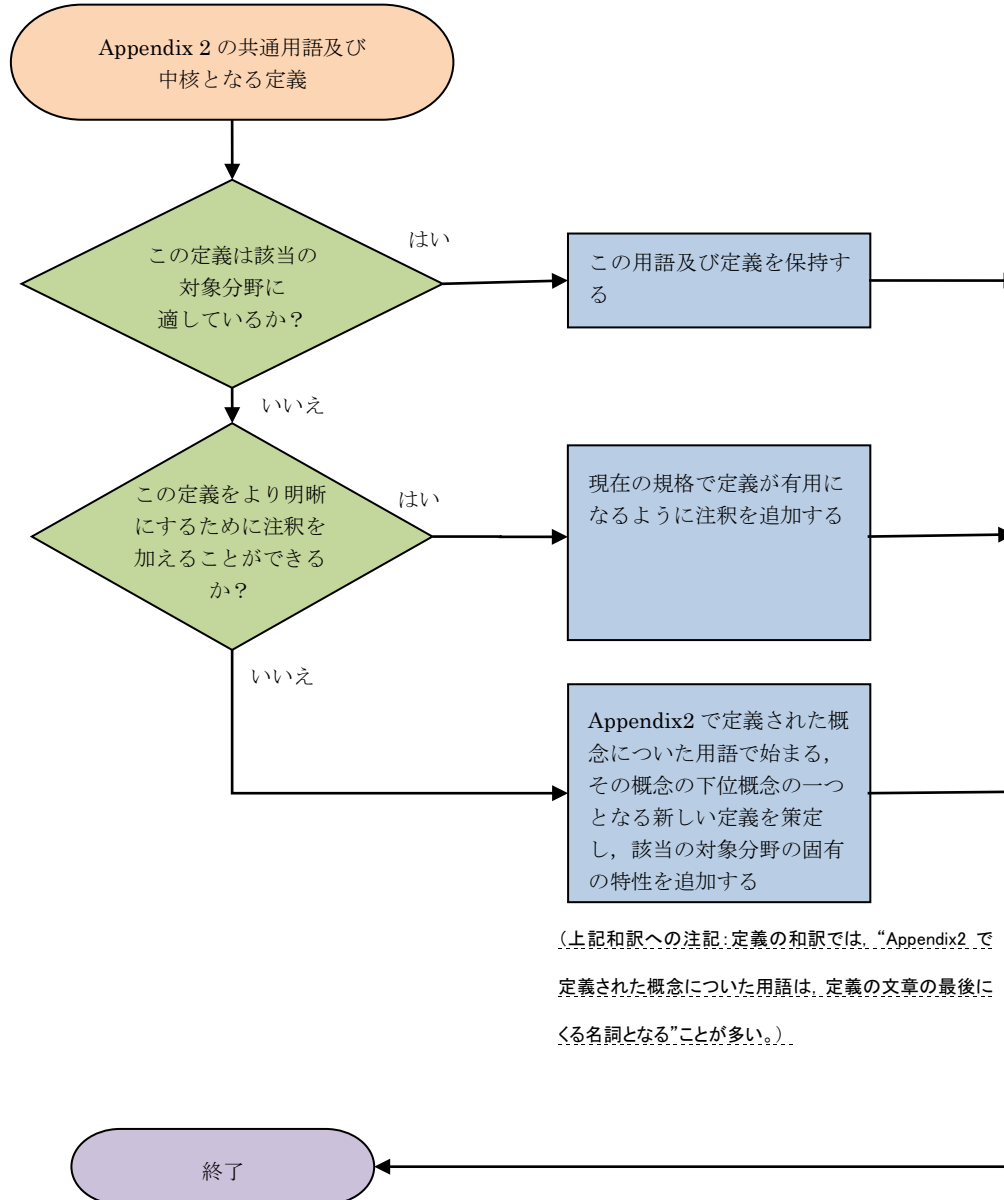
1 目的

この Appendix は，MSS 作成者が，附属書 SL の用語に対するアプローチを理解するのを助けることを目指している。

注記：全ての参考文献は，発行年の記載がない文書番号だけを含む。最新の用語及び完全な参照については，Online Browsing Platform (OBP) <https://www.iso.org/obp/ui#home> をご利用ください。

2 附属書 SL (Appendix 2) に含まれている用語及び定義に関して、MSS 用語集を策定するための実践的ステップ

2.1 概要



2.2 ISO マネジメントシステム規格 (MSS) からの例

2.2.1 注釈を追加する例ー“トップマネジメント”の定義

Appendix 2 の“トップマネジメント”の定義を維持し、エネルギーマネジメントシステムに関連する固有の特性 (characteristics) を示す注釈を追加する。

“トップマネジメント (top management)”

最高位で組織を指揮し、管理する個人又は人々の集まり。

注釈 1 トップマネジメントは、組織内で、権限を委譲し、資源を提供する力をもっている。

注釈 2 マネジメントシステムの適用範囲が組織の一部だけの場合、トップマネジメントとは、組織内のその一部を指揮し、管理する人をいう。

注釈 3 トップマネジメントは EnMS の適用範囲及びエネルギーマネジメントシステムの境界内で定義されているとおり組織を管理する。

[出典： JIS Q 50001]

2.2.2 分野固有の概念に対応する新しい定義を策定する例—“マネジメントシステム”及び“労働安全衛生マネジメントシステム”の定義

“労働安全衛生マネジメントシステム”の定義を、“マネジメントシステム”の下位概念として、労働安全衛生マネジメントに固有の特性を与えることで、書き直す。

マネジメントシステム (management system)

方針、目的及びその目的を達成するためのプロセスを確立するための、相互に関連する又は相互に作用する、組織の一連の要素

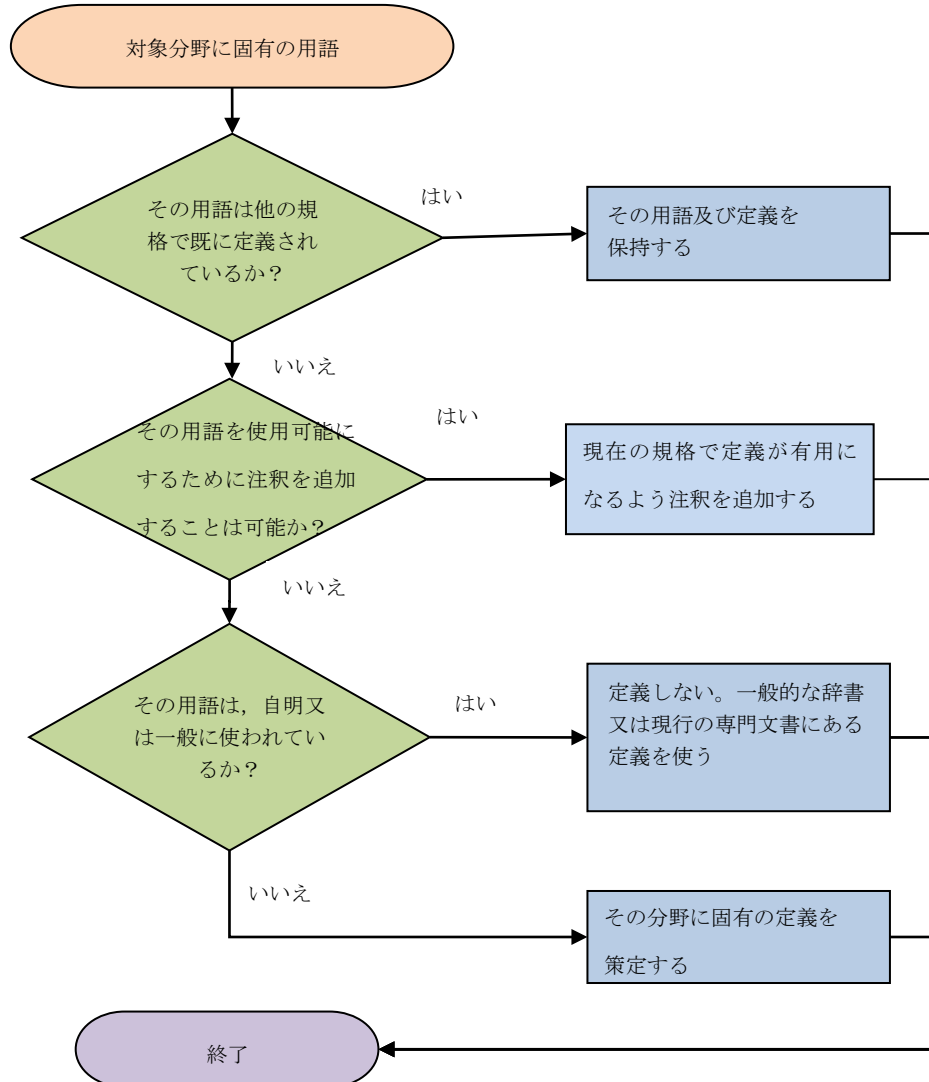
労働安全衛生マネジメントシステム (occupational health and safety management system)

労働安全衛生方針を達成するために使用されるマネジメントシステム又はマネジメントシステムの一部

[出典: JIS Q 45001]

3 附属書 SL (Appendix 2) に含まれてない (分野固有の概念の) 用語及び定義に関して, MSS 用語集を策定するための実践的ステップ

3.1 概要



3.2 対象分野に固有の概念

3.2.1 一般

第 2 章で記載していることに加えて, 附属書 SL の共通用語及び中核となる定義に直接の関連付けはないが, 対象分野に固有の用語及び定義が必要になることが度々ある。

3.2.2 定義策定前に問う事項

- a) その用語を既に定義している国際規格があるか? ISO オンラインブラウジングプラットフォーム (OBP) www.iso.org/obp を閲覧すること。

もしそうであり, その定義が受容可能なら, その定義そのものを引用し, 出典を提示する。

- b) その用語は、自明であるか、又は一般に知られているか、並びに、異なる文脈で、異なる解釈をすることは不可能か？

もしそうであれば、それは定義しない。

一般の辞書にある用語又は現行の専門用語は、もし、それらが関連する文脈において固有の意味で使われるならば、その場合だけ、定義してよい。

- c) もし前述の質問への答えが“いいえ”ならば、その対象分野に固有の定義を策定する。

3.2.3 定義作成のための優れた実践慣行 (good practice)

- a) 主要な特性だけを含める（すなわち、当該概念を他の概念から差別化する側面に焦点を当てる。）。
- b) 追加情報は、注釈に加えることが望ましい。
- c) 短い句を用い、可能であれば、1 行に収める。
- d) 各句 (each phrase) において、一つの課題だけを考慮する。
- e) “it means (～を意味する)”, “is (～である)”, “the term is used for (この用語は～に関して用いられる)”といった前置きの言葉は避ける。
- f) 定義している用語自体をその定義の中で使うことは避ける。
- g) 可能ならば常に、定義には単数形を使う。

良い定義は、次であることが望ましい。

- 明確
- 簡潔
- 当該規格に関連し、かつ適用可能である。

3.2.4 定義が正しいかどうかの確認方法 (置換えの原則)

定義：

知識 (knowledge)

状況での有効な意思決定及び処置を可能にする、人又は組織の資産

原文：

知識マネジメント (knowledge management)

組織のパフォーマンスを改善する、知識に焦点を当てた、包括的で機能横断的な分野及び一連の実践

用語をその定義に置き換えたもの：

組織のパフォーマンスを改善する、状況での有効な決定及び行動を可能にする、人又は組織の資産に焦点を当てた、包括的で機能横断的な分野及び一連の実践

4 用語及び定義の策定及び表現に関する、実践的推奨事項

4.1 一般

明確で、矛盾のない、首尾一貫した規格は、明確で矛盾のない用語〔法〕(terminology)を必要とする。用語〔法〕に関する規則は、ISO/TC 37 に付託されている。この Appendix では、用語〔法〕に関する概念を平明かつ実践的な方法で説明する。ISO/IEC 専門業務用指針 第 2 部の規則に加えて、次に示す国際規格は、用語〔法〕の規格又は規格の中の用語〔法〕のセクションを策定する際、特に重要である。

- **ISO 10241-1** *Terminological entries in standards — Part 1: General requirements and examples of presentation* (規格への用語登録 — 第 1 部：一般要求事項及び提示の例)

用語登録を策定する際に則るべき活動の実践的順序、並びに、用語登録の書式及び表現について述べる。

- **ISO 704** *Terminology work — Principles and methods* (用語作業 — 原則及び方法)

概念及び概念体系をどのように策定し構造化するか、並びに、どのように定義を起草するかに関する規則を与える。

- **ISO 15188** *Project management guidelines for terminology standardization* (用語標準化のプロジェクトマネジメントガイドライン)

新たなマネジメントシステム規格が多数の用語〔法〕を必要とする場合、この策定作業をどのように構造化し管理するかについての実践的助言を与える。

- **ISO 860** *Terminology work — Harmonization of concepts and terms* (用語策定作業 — 概念と用語の調和)

複数の専門分野間で用語〔法〕が重複する場合、又は異なる文脈の中で用語〔法〕が生成されてきたために、それら専門分野において矛盾している場合、この課題に対処するための方法論を含むアプローチを与える。

- **ISO 1087** *Terminology work and terminology science — Vocabulary* (用語策定作業及び用語科学 — 用語集)

用語策定作業及び用語科学で使用される。

4.2 用語項目の体系的な順序

体系的な順序とは、基盤となる概念体系を反映する、用語登録 (terminological entries) の順序である。それは、次の理由により、可能ならば常に使用する。

- a) 一つの概念体系内で策定する用語及び定義は、最も有効かつ効率的な策定作業の方法をもたらす。
- b) 概念的順序で配置する用語及び定義によって、規格利用者は、規格策定する言語によらず、用語登録番号の標準化による、迅速かつ正確なデータ検索が可能となる。また、アルファベット順索引に基づく言語は、迅速かつ正確な検索の別の選択肢を与えることも望ましい。

4.3 概念

4.3.1 “概念 (concept)” の定義

概念 (concept)

特性の一意的な組合せによって作られる知識の一つ

注釈 1 概念は、必ずしも特定の言語に縛られていない。しかし、それは、社会的又は文化的な背景の影響を受け、それによって異なる分類に導かれることもよくある。

注釈 2 これは、用語策定作業にて、用語“概念”によって使用し命名するものとしての概念“概念”である。産業用オートメーション又はマーケティングのような他の領域（domains）で指し示す概念とは、全く異なる。

[出典：ISO 1087-1]

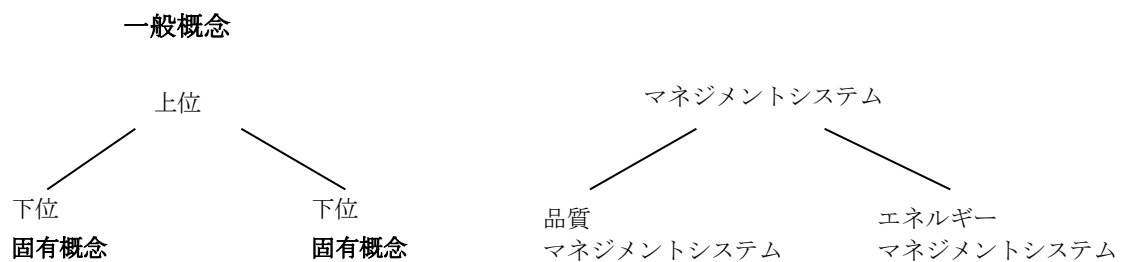
4.3.2 概念体系及び概念図

概念は、その相互の関係に従って、概念体系の中に配置する。概念体系は、概念図によって図示する。

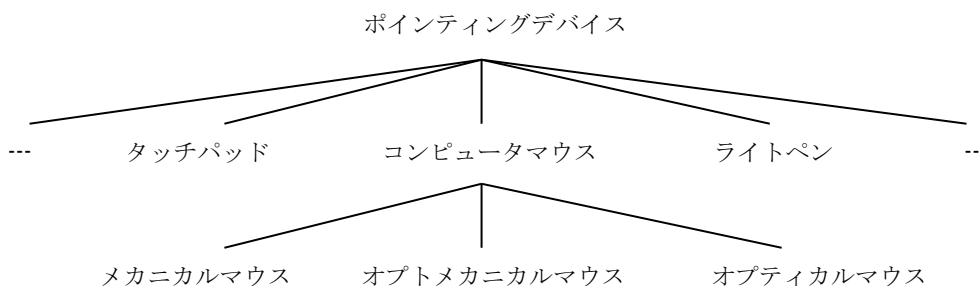
概念関係

概念関係の主な種類は、階層的关系（hierarchical）[一般的关系（generic）及び部分的关系（partitive）]、並びに連関的关系（associative）である。

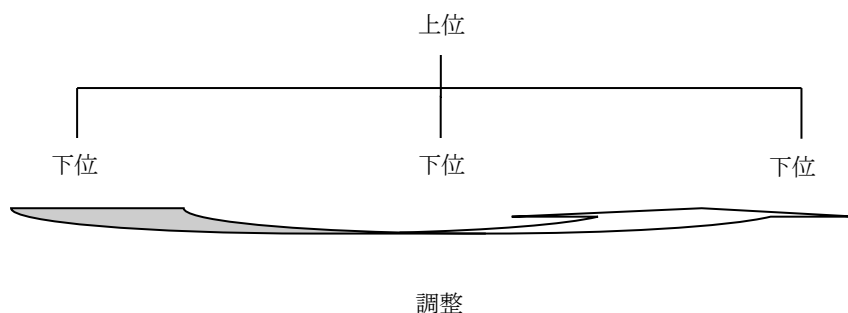
a) 階層的关系—一般的关系



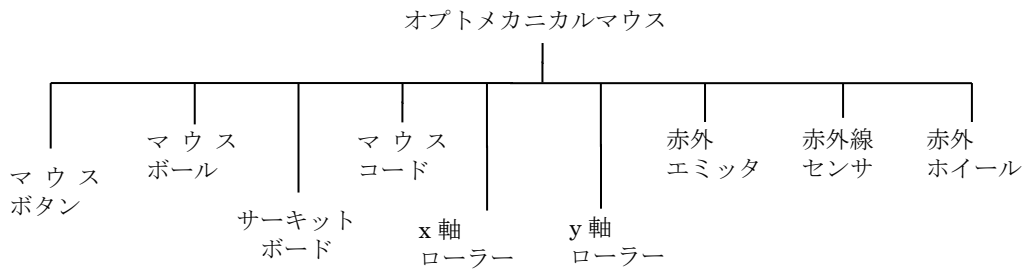
ISO 704 からの例



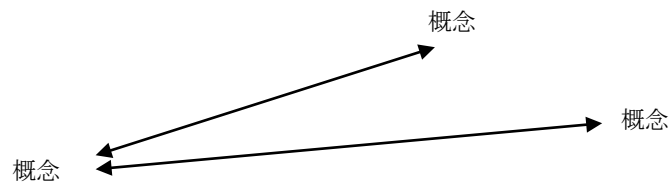
b) 階層的关系—部分的关系



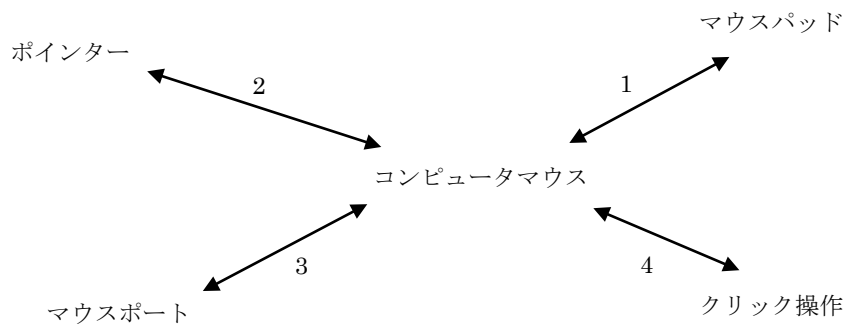
ISO 704 からの例



c) 連関的關係



ISO 704 からの例



4.4 “用語 (term)” の定義

用語 (term)

言語学的手段により一般的概念を表す命名。

注釈 用語は、部分的に又は全体的に言葉 (verbal) であってもよい。

[出典 : ISO 1087]

4.5 “定義 (definition)” の定義

定義 (definition)

概念を説明し、それを関連する概念から差別化する表現による、一つの概念の表明。

[出典 : **ISO 1087**]

定義とは、概念を定義し、用語を定義しない。